

平成 27 年 11 月 17 日

保護者の皆様へ

丹波市立芦田小学校
校長 田野 和 昭

平成 27 年度 全国学力・学習状況調査
芦田小学校の調査結果の概要について

～学び続ける子どもたちを育てるために～

寒冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育に格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、本年度 4月21日 に、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、国語、算数(数学)、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する「全国学力学習状況調査」が丹波市においても実施されました。本校におきましてもその結果を分析し、今後の対応について協議を行いました。ここに、その概要についてご報告いたします。



～丹波市における調査のとらえ方～

丹波市は、学校が児童生徒にとって安心できる居場所となるために、一人一人が「わかった」「できた」と実感を伴う授業や、すべての児童生徒が活躍できる授業を展開する必要があると考えています。また、教職員が児童生徒の学習の達成状況を的確に把握し、一人一人の良さや可能性を伸ばし、活かすことが必要であると考えています。

そのためには、児童生徒の現状把握、分析が不可欠です。全国学力学習状況調査の結果もその一つであるにとらえ、本調査結果を踏まえた指導の改善・充実に取り組んでいます。

芦田小の学力状況と指導改善の方向



【国語】



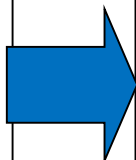
【成果と課題】

成果

- 目的や意図に応じ、条件に合わせて自分の考えを書く力はついています。
- 「漢字の読み・書き」においては、定着が見られました。
- 話の中心となるキーワードや文章を捉える問題に正答が多く、成果が見られました。

課題

- ◆説明の文章の書き方の工夫で事例を挙げて書く問題に課題が見られました。
- ◆登場人物の関係を捉えたり、新聞のコラムの表現の工夫を捉えたりする問題に誤答が多くありました。



【指導改善の方向】

普段の授業の中や家庭学習において「書くこと」を日常的に取り組んでいます。新聞記事を読んで感じたことを書いたり、キーワードや字数制限などの条件を付けて書いたりする学習に引き続き取り組んでいきます。

物語文では、学年に応じた人物関係図を用いた指導を取り入れていきます。

朝の学習タイムに「文法プリント」を取り入れ定着を図ります。

聞く力についても、伝えたいことは何か、自分の考えとの共通点や相違点など、ポイントをしばってメモを取りながら聞く指導をしていきます。

【算数】

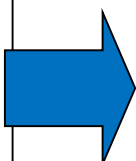
【成果と課題】

成果

- 「 $+$ 」「 $-$ 」「 \times 」「 \div 」を使った基本的な計算問題（分数や小数を含む）や「時刻」「角度」「面積」については正答が多く、成果が見られました。
- 解き方を説明する問題では、自分なりに答えに導けるように説明しようとする力がついてきています。

課題

- ◆「単位量あたりの大きさの求め方」や「基準量の□倍」など、割合の理解を問う設問に誤答が多くありました。
- ◆グラフに表されている事柄を読み取ったり、式と図を関連づけて考えたりする設問に誤答が多くありました。
- ◆実生活の場面に当てはめて考える問題に課題が見られました。



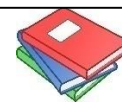
【指導改善の方向】

普段の授業で、実感を持った学習をめざして、生活の中でイメージしたり、体感したりする場面を取り入れていきます。（試してみる《活用》学習）

学習したことを使って自分なりにまとめたり、説明したりするなど、ふり返りを大切にしていきます。

朝の学習タイムに取り組んでいるちーたん検定や個々の実態に合ったプリント学習をより充実させ、基礎基本の学力の定着を図ります。

昨年から取り組んでいる、現在の学年以前に学習した内容を復習する宿題を引き続き出し、学習内容の定着を図ります。



【理科】

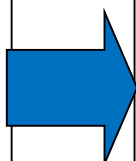
【成果と課題】

成果

- 条件を整理しながら実験を構想する力はついてきています。
- 物質の性質やエネルギー運動の規則性を理解しており、生命（メダカの雌雄、養分、インゲン豆）、地球（月、星座）に関する基礎的な知識も身につけてきています。

課題

- ◆実験結果をもとに自分の考えを改善したり、観察記録をもとに考察して分析したりする設問に誤答が多くありました。
- ◆問題文を読み取り、身につけている知識を使ったり、他の場面に適用したりする設問に課題が見られました。

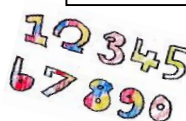


【指導改善の方向】

普段の授業では、実験が「楽しい」だけでなく、予想を立て、「何のために」「どのように」するのか明らかにした上で実験を行います。さらに、実験結果や観察結果から考えたことを書き、科学的に物事をとらえる力をつけ、「わかる」授業を目指します。

また、実験の結果で得られた規則性と生活場面とがつながるような学習を取り入れます。

実験の器具の名称や使い方等、知識に関することについては、確実な定着を図るため、ミニテストを定期的に行います。



学習や生活の状況

質問には、4択【1.当てはまる 2.どちらかという当てはまる 3.どちらかといえば当てはまらない 4.当てはまらない】で回答している。(全74ある質問から抜粋)

【学習習慣(学習に関すること)】

項目	芦田小	全国	比較
家で学校の宿題をしていますか。	100.0%	87.4%	◎
学校の授業時間以外に、平日に1日2時間以上勉強をしている。	28.3%	25.7%	○
学校が休みの日に、1日2時間以上勉強している。(塾・家庭教師含む)	14.3%	12.6%	○
読書を1日に1時間以上している。(漫画、雑誌を除く)	14.3%	7.5%	○

宿題をする学習習慣はしっかり身につけており、家庭学習の時間や読書の時間は、全国と比べても良い状況です。学校では、前学年までの復習プリントを宿題に出したり自主勉強を充実させる指導をしたりしています。進学・進級に向けて、家庭学習や読書の時間を少しずつ増やしていけるように、引き続き、ご家庭でのご協力をお願いします。

統計数が少ないので、「1」「2」の人数の割合を合計し、全国と比較して優れているものを◎、やや上回るものを○、やや下回るものを△、最重要課題を▲として表しました。

【基本的生活習慣】

項目	芦田小	全国	比較
毎日決まった時刻に起きている。	85.7%	91.0%	△
朝食を毎朝食べていますか。	85.7%	95.6%	△
毎日決まった時刻に寝ている。	71.5%	79.5%	△
テレビ・ビデオ・DVDを毎日2時間以上視聴する。	100.0%	59.2%	▲
テレビゲーム(スマホ・携帯ゲーム機含む)を毎日2時間以上する。	28.6%	30.2%	△

基本的生活習慣では、「当てはまる」が100%でないことから、学期に一度行っている生活チェックで徹底していく必要があります。また、今後はテレビやゲームの時間を減らしていく必要があります。利用時間を決める、テレビ・ビデオ・DVD・テレビゲームなどを1日使用しない「ノーメディアデー」を設定するなどご家庭でルールを決め、取り組んでいただきますようお願いいたします。

【自尊感情・他者との関わり】

項目	芦田小	全国	比較
自分には、よいところがあると思いますか。	100.0%	66.9%	◎
将来の夢や目標を持っていますか。	100.0%	86.5%	◎
今住んでいる地域の行事に参加していますか。	100.0%	66.9%	◎
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることはありますか。	0%	44.8%	▲
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	100.0%	93.7%	○

本校の6年生児童は、自尊感情が高く、自己肯定感をもっている児童が多いといえます。地域の行事には、全国と比べ「参加する」と答えた児童が多いです。本調査を行った4月時点では、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがありますか。」という質問に対し、考えたことがある児童が一人もいませんでしたが、キャンプや地域の行事を通して、最高学年として主体的に取り組む姿がみられるようになりました。今後も、地域の方々とのつながりを深め、進んで地域に働きかける人に育つよう願っています。

今後の取組

1. 授業改善の取り組み

- ①学習の「めあて」「まとめ」を明確にし、「振り返り」の時間を確保する授業改善に努めます。
 - ・国語では、条件に合わせて書く力や要点をメモしながら聞く力を育成します。
 - ・算数では、その日に学習したことをまとめたり、説明したりする力を育成します。
- ②「個人思考」と「集団思考」のバランスを意識した授業改善に取り組みます。
 - ・「1時間の授業」や、「単元全体」の中で定着を図る時間の確保に努めます。
 - ・学んだことを生活場面と関連させる学習(活用)を多く取り入れ、学習内容が日常生活に結びついていることが実感できる授業をめざします。
- ③学習意欲を高める授業改善を行います。
 - ・情報機器や掲示物など視覚的な支援を活かし、学習の理解を深めます。
 - ・児童の頑張りを認め、褒めることで伸ばす「芦田小指導的評価」を行い、学習意欲を高めます。
- ④個に応じた効果的な指導の工夫をします。
 - ・効果的な同室複数指導による個に応じた指導をさらに充実させます。

2. 基礎基本の定着の取り組み

- ①朝の「学習タイム」(月、水、木、金 8:25 ~ 8:40)の充実を図ります。
 - ・朝の「学習タイム(チャレンジタイム)」で、「文法プリント」「ちーたん検定」等を使って文法・漢字力や計算力をつけます。また、地域ボランティアの読み聞かせにより読書力の向上を図ります。
- ②個に応じた指導により定着を図ります。
 - ・計算練習の成果を「芦田式計算力診断テスト」で年3回実施し、その結果を個別指導に活かします。
 - ・「パワーアップタイム(個別補習) 8:00~8:10」を設定し、児童のつまづきを早期に改善していきます。
- ③家庭学習の内容を工夫し定着を図ります。
 - ・「家庭学習のてびき」を配布し、家庭での協力を得ながら学習習慣の定着を図ります。
 - ・前学年までに学習した内容の復習プリントを宿題に出し、既習内容の定着を図ります。
- ④読書活動を推進します。
 - ・「読書通帳」を活用し、児童一人が年間40冊以上の読書を目標に取り組みます。
 - ・「読書週間」「とっておきの一冊会」「家庭読書の日」を通して、読書に対する関心を高めます。

3. 人権を大切にした学校づくりに取り組みます

- ①授業や学校行事等、すべての教育活動を通して「芦田小指導的評価」を行い、児童の自尊感情の育成に取り組みます。
- ②縦割り班活動等を通して、リーダーシップとフォローシップを育成しながら、支え合う仲間づくりに取り組みます。
- ③地域ボランティアと触れ合いながら、地域の伝統的な行事を体験することで、郷土に対する愛着や誇りを育みます。
- ④「いじめアンケート」を定期的に行い、児童の実態把握に努め、いじめのない学校づくりに取り組みます。